

8/15 木

広島「」とも代表「平和への誓い」

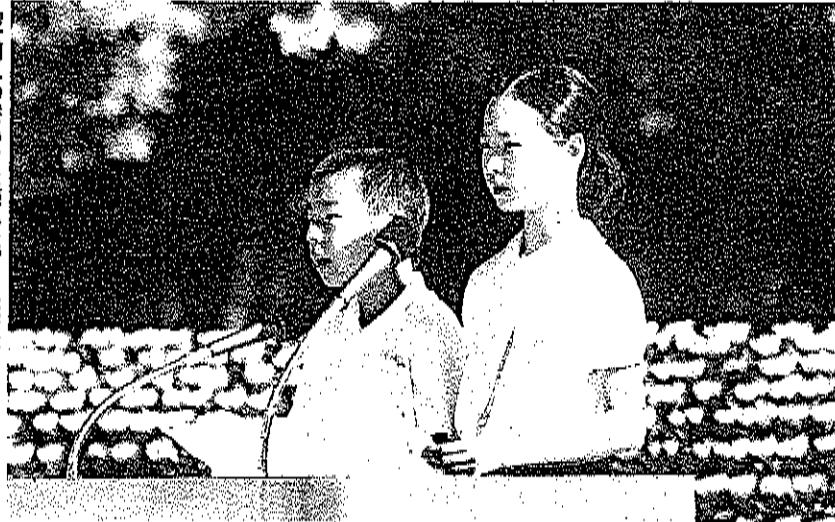
6月15日広島市の平和記念公園で開かれた平和記念式典で、「」とも代表の勝岡英玲奈（かつおか・えれな）さん（12）＝市立牛田小学校6年＝と米廣朋留（よねひる・ともる）さん（11）＝市立牛田市東小学校6年＝が行った「平和への誓い」は次の通りです。

みやがねだじゅう「平」年8月6日午前8時15分。

争いや戦争がないこと。

差別をせず、違いを認めること。
愚口を言つたり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。
最近なんじゆにも、たくさんの平和があります。

昭和20年（1945）



「平和への誓い」を読み上げる米廣朋留さん（左）と勝岡英玲奈さん（右）＝広島市牛田区

た。

「なぜ、自分は生き残ったのか」

仲間を失った私の曾祖父は、そう語りて自分を責めました。

原子爆弾は、生き延びた人々とも心を擦り傷を負わせ、

生きていく人々の苦しみを与え続けたのです。

あれから78年がたちました。

今の広島は爆弾がで笑顔あらわれぬまかくなりました。

「生き残ってこれてあります」

命をつなぐてくれたからこそ、今、私たちは生きています。

私たちも、生きないとあります。

自分の恩ごとを伝える前に、相手の気持ちを考えます。

友だちのよこしまのを見つけます。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いをつぶさります。

被爆者の思いを自分事として受け止め、自分自身で伝えていきます。

最近のある平和をつけたいでいいため、一人一人が行動していくます。

誰もが平和だと思える未来を、広島を生きる私たちがつむいでいきます。